

科目番号	科目名	配当年次	開講学期	授業形態	単位	担当教員
19I5213	グローバルコミュニケーション	1～4年	集中	演習	1	星順子 阿部巧
授業概要 グローバルな場面で求められるコミュニケーション力とは、単なる語学力だけではない。文化的、社会的に異なる背景を持つ他者と、自他の「ちがいを認め合い、調整しあいながら、新たな関係を構築していく等の能力が求められる。本講義では、保育者として必要な異文化間の調整能力と多文化共生の実現に貢献する知識、スキルや態度の習得を目指す。						
到達目標(学習の成果) ① 異文化コミュニケーションの基礎的な知識を習得し、異なる他者とのコミュニケーション能力を身につける(DP2)。 ② 世界の現状と課題を学び、他者と協働しながらその原因や解決策について検討し、新たなアイデアを提案することができる(DP2)。 ③ 物事を柔軟にとらえ、寛容な態度で他者と協働する力を身につける(DP2.4)。						
授業計画						
回	学習内容	授業外における学習方法				
1	オリエンテーション:グローバルビンゴ 授業の進め方を理解する。グローバルコミュニケーションとは何かについて理解する。保育者として他者理解の必要性を考える。(星)	事前	シラバスを読み、授業内容を理解しておくこと。(0.5 時間)			
		事後	授業での発見や気づきを整理し、ノートにまとめる。(0.5 時間)			
2	グローバリゼーション:見つけよう!外国から来たもの!身近なものとの関係からグローバル化を考える。(星)	事前	事前の配布資料を読み、グローバル化について調べる。(0.5 時間)			
		事後	授業での学びを振り返り、世界とのつながりと相互依存について考える。(0.5 時間)			
3	文化の多様性:地球の食卓 異なる文化の人々の暮らしに触れ、保育者としての「あたりまえ」を問い直す。(星)	事前	異なる食文化についてインターネット等で調べる。(0.5 時間)			
		事後	授業の学びを振り返り、保育者としての課題を考える。(0.5 時間)			
4	国際協力とグローバルマインド: ※ゲスト(※海外) 国際協力とは何かを理解し、異なる背景を持つ人々との協働の意義を実践者の話から学ぶ。(星)	事前	事前の配布資料を読み、JICA の概要を把握する。(0.5 時間)			
		事後	授業の学びを振り返り、レポートにまとめる。※提出(0.5 時間)			
5	「普通」について再考:文化の違いがもたらす様々な困難について知る。(阿部)	事前	日本では「普通」と考えられるが、外国では「普通」と考えられないと思うことを10個考える。(0.5 時間)			
		事後	授業での学びを振り返り、「普通」に潜む問題点について 400 字程度で考えを述べる。※提出(0.5 時間)			
6	よいコミュニケーションとは何か:ハイコンテキストとローコンテキストについて理解し、コミュニケーションについて考える。(阿部)	事前	事前課題(事例)を読み、日本はハイコンテキストか、ローコンテキストか考える。(0.5 時間)			
		事後	授業での学びを振り返り、よいコミュニケーションについて 400 字程度で考えを述べる。※提出(0.5 時間) (0.5 時間)			
7	国によって異なる評価:フィードバックと受けとめ方の違いについて考える。(阿部)	事前	事前課題(事例)を読み、話し手の意図を考える。(0.5 時間)			
		事後	授業での学びを振り返り、子どもにフィードバックを与える際に気を付けたいことについて 400 字程度で考えを述べる。※提出(0.5 時間)			
8	多文化世界における説得:思考の違いを理解し、相手にわかりやすく説明をすることの大切さを知る。(阿部)	事前	事前課題(事例)を読み、説得力のある事例を選び、その理由を考える。(0.5 時間)			
		事後	授業での学びを振り返り、相手にわかりやすく説明するための工夫について 400 字程度で考えを述べる。※提出(0.5 時間)			
9	信頼関係の築き方の違い:タスクベースと関係ベースについて考える。(阿部)	事前	事前課題(事例)を読み、どちらの事例に好感をもてるか考える。(0.5 時間)			
		事後	授業での学びを振り返り、信頼関係を築く工夫について 400 字程度で考えを述べる。※提出(0.5 時間)			

10	議論の進め方の違い:各国における異なる意見を伝えるときの違いについて知り、今後の生活への活用を考える。(阿部)	事前	事前課題(事例)を読み、どちらの事例に好感をもてるか考える。(0.5時間)
		事後	授業での学びを振り返り、異なる意見を伝える際のポイントについて400字程度で考えを述べる。 ※提出(0.5時間)
11	時間の認識の違い:スケジュールと文化の関係について考える。(阿部)	事前	事前課題(事例)を読み、どのような文化的な背景があるか考える。(0.5時間)
		事後	授業での学びを振り返り、文化の違いを考慮してスケジュールを調整するについて400字程度で考えを述べる。 ※提出(0.5時間)
12	異文化コミュニケーション:やさしい日本語 ※ゲスト やさしい日本語を学習し、外国人とのコミュニケーション方法を知る。保育における活用を考える。(阿部)	事前	やさしい日本語について調べ、知識を整理する。(0.5時間)
		事後	授業の学びを振り返り、保育における活用方法をまとめる。(0.5時間)
13	多様な価値観①外国人保護者(ムスリム)とオンライン上で交流し、多様な価値観を理解する。(星)	事前	イスラムについて調べ、知識を整理する。(0.5時間)(0.5時間)
		事後	授業の学びを振り返り、新たに得た知識や考え方をまとめる。(0.5時間)
14	多様な価値観②外国人留学生との交流を通して、保育者として必要な異文化の知識を得る。(星)	事前	保育者として必要な知識を得るための質問内容を考え、交流の準備をする。(0.5時間)
		事後	授業の学びを振り返り、気づいたことをレポートにまとめる。(0.5時間) ※提出
15	多文化共生社会の実現に向けて:多文化共生とは何かを理解し、保育者としてその実現に向けた取り組みを考える。(星)	事前	事前資料を読み、多文化共生についての知識を整理する。(0.5時間)
		事後	授業の学びを振り返り、保育者としてどのようにこの学びを活かしていくかをまとめる。 ※提出(0.5時間)

授業形式(アクティブラーニングの内容)
グループワーク、グループディスカッション、プレゼンテーション、課題解決型学習

成績評価の方法・基準(%表記)
AL への参加度(50%)、授業内課題(50%)

成績評価の基準

観点	S	A	B	C
異文化コミュニケーションの基礎知識を習得し日常生活で応用ができる(DP2)。	十分できている	ほぼ十分できている	一定程度できている	努力している
世界の現状と課題に関心を持ち、他者と共に解決に向けた新たな提案ができる(DP2)。	十分できている	ほぼ十分できている	一定程度できている	努力している
物事を柔軟にとらえ、寛容な態度で他者と協働することができる(DP2.4)。	十分できている	ほぼ十分できている	一定程度できている	努力している

教科書
特になし

参考書等

- ・田中治彦『国際協力と開発教育「援助」の近未来を探る』赤石書店 2008年
- ・八島智子,久保田真弓『異文化コミュニケーション論』松柏社 2012年
- ・中西のりこ,仁科恭徳『グローバルコミュニケーション学入門』三省堂 2018年
- ・エリン・メイヤー『異文化理解力』英治出版 2015年

履修上の注意・学修支援

本授業は、ワークショップ形式で行うため積極的な参加を期待したい。

※以下は該当者のみ記載してください。

実務経験のある教員による授業科目

星 順子

[実務経験の概要]

- ・保育士・幼稚園教諭として、中東数か国の保育施設における国際協力活動に携わってきた。
- ・国際協力分野の幼児教育調整員(海外事務所配属)として、現地配属先との協働による幼児教育の質向上プロジェクトのマネージメント全般を担当した。

[実務経験と授業科目との関連性]

- ・中東の幼児教育に関わる現場で、多様な背景を持つ他者と共に協働してきた。異文化コミュニケーションにおける心構えや留意点等、具体的なエピソードや経験談を基に授業を展開する。

阿部巧

[実務経験の概要]

- ・小学校外国語専科教諭として、外国の小学校との交流を進めた。
- ・英語教育推進コーディネーターとして、ALTと学校職員、教育委員会との連絡調整を担当した。

[実務経験と授業科目との関連性]

- ・欧米出身のALTと協働した経験や海外の学校との連絡調整等の経験から、文化の違いによるコミュニケーションに難しさや楽しさなどを、具体的なエピソードを基に伝えていく。